

「にっこうざんりんのうじ」

日光山輪王寺

巨大な三仏坐像を、間近に仰ぎ見る迫力

奈良時代に勝道上人が日光山を開き、四本龍寺を建てたのが始まりとされています。平安時代には空海など高僧の来山が伝えられており、関東の一大霊場として栄えました。



▲ 右から、千手観音(男体山)、阿弥陀如来(女峰山)、馬頭観音(太郎山)の三体の仏像を祀る



遣遣園 しょうようえん

琵琶湖を模して作庭したとされる日本庭園は、江戸初期の大名茶人・小堀遠州の作と伝えられています。



三仏堂 さんぶつどう

日光山内最大の木造建築物。2019年に平成の大修理が終了しました。全国でも珍しい天台密教形式の御堂は、日光山の総本堂でもあり、日光三所権現本地仏のご本尊が祀られています。

大護摩堂 だいごまどう

本堂(三仏堂)の裏手にある日光山輪王寺の中心的な祈祷道場。5回護摩祈祷が行われます。



御朱印 ごしゅいん

広い境内には計6カ所の御朱印所があり、それぞれに趣き豊かな御朱印が授与されます。



持国天 じこくてん

東を護る守護神。増長天とともに「四天王」の一人。

増長天 ぞうちょうてん

西を護る守護神。踏みつけている鬼は天邪鬼(あまのじゃく)。

二天門 にてんもん

増長天と持国天を祀る二天門は、世界遺産「日光の社寺」で最大の楼門です。2019(平成31)年3月、風神・雷神の複製像が完成し、安置されました。



夜叉門 やしゃもん

夜叉門には四体の夜叉が安置され、家光公の霊廟を守っています。牡丹の花が彫刻されていることから「牡丹門」とも呼ばれています。



烏摩勒伽 うまろきや

破魔矢のルーツの弓矢を持つ



健陀羅 けんたら

斧を持ち、憤怒の形相で威嚇



毘陀羅 びたら

金の衣装と膝のナマズが特徴



阿跋摩羅 あぼつたら

緑の体に白虎の皮を巻く

日光山大猷院 輪王寺

家光公の霊廟を守る四体の夜叉

「にっこうざんりんのうじたいゆういん」

三代将軍・徳川家光公の霊廟(墓所のこと)で、世界遺産に登録されています。祖父・家康公を尊敬していた家光公は「死後も家康公に仕える」との遺言を残し、四代将軍・家綱公によって建造されました。